

# 平成30年度事業報告

## I 事業の実施状況

海上保安庁及び傘下各地区の協力を得て、次のとおり事業を実施した。

活動名	実施内容
1 教育活動	<p>海上安全指導員、海上保安官、小型船舶の運航・機関取扱熟練者及び海事・救急専門家等が講師となり、プレジャーボート関係者等からニーズの高い議題に沿った資料を配布するとともに、プロジェクター等を活用して分かり易い講演を行い、また、質疑等が活発に交わされた。</p> <p>平成30年度は、「救命胴衣の着用及び見張りの重要性」を強く啓蒙した。</p> <p>海上安全講習会 19回 499名</p>
2 安全活動	<p>海上安全指導員が中心となって、安全パトロールの実施、海上安全指導員連絡調整会議及び瀬戸内海・宇和海小型船海難防止連絡会議を開催した。</p> <p>(1) 海上安全指導員連絡調整会議 海上安全指導員が現場指導等を計画的に実施するため連絡調整会議を実施した。</p> <p>6箇所 132名</p> <p>(2) 安全パトロール (巡視船艇との合同パトロールを含む。) 海上安全指導員が安全パトロール艇に乗船の上、プレジャーボート関係者に対する安全指導を実施した。</p> <p>109回 447隻</p>
3 海事思想普及活動	<p>幼稚園児、小中学生の少年少女が参加できるイベントを通じて、海洋レジャーの楽しさや安全知識の普及啓蒙活動を行う「海洋教室」等を開催した。</p> <p>4回 236名</p>
4 調査研究	<p>第六管区海上保安本部からの受託事業として、次の調査研究を行った。</p> <p>(1) プレジャーボート運航者における航路標識の利用実態調査 (2) 「海の安全情報」の利用状況調査</p>
5 その他の活動	<p>小型船の安全に関する各種委員会等に委員として参画し、小型船の安全航行の立場から発言した。</p> <p>(1) 小型船舶の安全確保対策連絡会議(主催：六本部) (2) 中国地区舟艇利用振興対策連絡会議(主催：中国運輸局) (3) 瀬戸内海港湾における船舶の航行安全性検討委員会 (主催：公益社団法人瀬戸内海安全協会)</p>

6 会議の開催等	<p>(1) 通常総会 1 回及び臨時総会 1 回並びに理事会 3 回（書面決議 1 回）</p> <p>(2) 平成 30 年度海難防止団体等連絡調整会議  （主催：日本海難防止協会）</p>
----------	---

II 会員の状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

会 員 区 分	会 員 数
正 会 員	9 団 体
	1 法 人
特 別 会 員	14 名
賛 助 会 員	10 法 人